

見てわかる！誰でも使える！

タイトルを読めば、
内容がわかります！

このページで
学ぶスキルを紹介

イラストを見るだけで、
イメージがわいてきます。

活動は1つずつ
色分けしています。
3段階または4段階の
つくりです。

昨年、第1巻と第2巻を発行した「ライフスキルで育てる ひとりで生きる力！みんなと生きる力！」の第3巻を発行しました。これでシリーズ3巻がそろいました。「見てわかる、誰でも使える」をコンセプトに作った資料集。手に取ってパラパラとめくり、読むだけでなく、子どもが読んでも楽しいつくり。誰でもすぐに使えて、ちよつとした時間に取り組むことができます。3冊あれば、いろいろな出来事に対応でき、ライフスキル教育を身近にするチャンス。この紙面のつくりを見れば、資料集を手にしたとき、より素早く簡単にライフスキルが学べます。

みんなの ライフスキルタイムズ

ときどき発行
No.5 (2021.4.14)
J I Y D
東京都港区高輪
4-10-63-302
TEL 03-3440-3373
FAX 03-3440-4447
info@jiyd.org

お得な
3冊セット
あります！

各1冊
550円

(税込・送料無料)



お申込みはこちらから
<https://still-silence-490.stores.jp/>



スキル 振り返る 自己評価

2 ふりかえって前にすすもう！

準備物

- 「ふりかえって前にすすもう」カード

大人も子どもも、がんばって取り組んでも、うまくいかないことがよくあります。でも、へこたれずに前に進むためには、立ち止まって、ふり返ることが大事です。ふり返ることで、前に進むべき道が見えてきます。

活動1 「かつどう」と「ふりかえり」

今日は「ふりかえって前にすすもう」カード（資料1 P28参照）を使って、「ふりかえり」の練習をします。

最近やってみた活動を思い浮かべ、その中から1つ選びます。サッカーの試合をした、みんなでそうじの「ぼうしかつどう」をした…など、いろいろな取り組みの中から1つ選び、「かつどう」の枠に書きましょう。次に、「ふりかえり」の枠に、やってみてどうだったか、良かったことを中心に書きます。

指導のヒント

次のステップを目指すためには、現状を把握することが大事です。本人も「周囲の人」も、できたことを認めることから始めましょう。マラソンに例えるなら、記録ではなく、最後まで走れたら、まずそれを評価します。こうすることで、自己肯定感が育ち、取り組む意欲が高まり、次の目標が見えてきます。

活動2 「つづける」ことを確認します

- 次にもう一度同じことをするとしたら…と考えて、「ふりかえり」を参考に、同じやり方で取り組みたいことを「つづける」の枠に書きます。例えば、「次の大会でも、最後まであきらめずにがんばって走る」などです。

活動3 「かえる」ことはないか考えます

- 今回やってみて、次は変えたいことを「かえる」の枠に書きます。例えば、「友だちを誘って、練習を週2回にふやす」と「マラソンの得意な人に、練習の仕方を教えてもらう」などです。

活動4 「はげまし」をもらおう

- 最後は、「はげまし」の枠です。先生やおうちの人にはげましの言葉を書いてもらう、カードを交換しお互いに書きあう、などの方法があります。今日は、近くの人と交換し、互いにはげましの言葉を書きましょう。

笑顔があふれるゲーム

すすめ、とまれ、ふりかえり

紙皿を1人1枚用意します。参加者は部屋の一方に、紙皿を頭に載せて立ち、リーダーの「すすめ」の合図で前進し、「とまれ」で止まり、「ふりかえり」で後ろを見ます。紙皿を落としたら、スタート位置に戻ります。部屋の反対側に落とさずに着いたら、全員が着くまで、応援します！

今回使用する文具や
資料を記載。冊子に
収録されている資料や、
身近にあるものです。

今回の概要とポイント。
どんなときに、どんな目的で
学ぶことが効果的か書いて
あります。

使用する資料や、実際に
使ってみた資料をイラストや
写真で掲載しています。

このスキルを学ぶとき、
活用するときの注意点や
ヒントです。知っている
と得するミニ情報！

少人数でも短時間でも実施できます。
子どもだけではなく、大人同士でもOK！
第1巻と第2巻に各10のスキル、
第3巻では12のスキルを掲載しています！

みんなで楽しく遊べるゲームを紹介。
一体感を味わったり、気分を変えたり、
さまざまな場面で活用できます。